

音楽科学習指導案

日 時 令和3年7月8日(木)
 6校時 14:25～15:10
 学校名 文京区立 鴛籠町小学校
 対 象 第6学年2組 27名
 会 場 4階 音楽室
 授業者 指導教諭 金田 美奈子

1 題材名 曲想の移り変わりを味わいながらきこう (小学生の音楽6 : 教育芸術社)

2 題材の目標

- (1) 曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解する。
- (2) 旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
- (3) 曲想及びその変化と旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、「ハンガリー舞曲第5番」に親しむ。

3 指導事項との関連

B 鑑賞(1)ア イ [共通事項] (1)ア

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「調」「速度」「反復」「変化」)

4 題材の評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>知 曲想及びその変化と旋律の特徴や速度、調の変化、音楽の仕組みとの関わりについて理解している。</p>	<p>思①旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>思②旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて理解したことを踏まえ、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>態①曲想及びその変化と旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 児童の実態と題材設定の理由

第6学年の児童は、音楽学習における学習意欲が高く、学習したことさらに興味をもったことについて自主学習ノートにまとめたり、演奏技能の習熟を図るために休み時間に音楽室や教室で練習したりするなど、自らの状況に合った学び方をしようとする児童も多い。また、5・6年生全員による鼓笛隊の活動にもすすんで取り組むなど、学校生活の中でも音楽活動を楽しんでいる。

今年度は、6月に鑑賞の学習として「管弦楽組曲『惑星』から『木星』(ホルスト作曲)を学習した。この題材では、曲全体の構成や旋律の特徴、旋律の登場の仕方や演奏する楽器の移り変わりによる曲想の変化などから、「ホルストは、なぜこの旋律をこのように使ったのか、この部分で何を表したかったのか。」という問いを常にもって聴く活動を設定した。その結果、第1時の楽曲全体から気付いたことや感じたことをまとめる時間や、第2時の旋律の特徴や楽器の移り変わりについて知覚・感受する時間では、それぞれ学習カードにホルストの思いや考えに思いを馳せながら自分の考えをまとめることができた。しかし、最終時に紹介文としてまとめる段階になると、前時まで学習したことを踏まえて書けた児童

は少なく、学習内容の定着や活用に課題が見られた。

そこで、本題材では、第1時に既習事項を生かして楽曲全体を聴いたり分析的に聴いたりする時間、第2時と第3時は複数の音源から演奏者による様々な表現の違いに触れながら、第1時で学習した主な音楽を形づくっている要素である「旋律」「調」「速度」「反復」「変化」を手掛かりとして聴き比べる時間とする。その上で、児童の学びが継続するような学習カードを作成して児童一人一人の学びの過程を把握し、「粘り強い取組を行おうとする」姿や「自らの学習を調整しようとする」姿を見取り、指導と評価の一体化に努めていく。このように、第1時に音楽を聴いて気付いたことや感じたことが第2時と第3時の学びを通してどのように深まったのかを自分自身で振り返ることができるように指導計画を工夫することで、自分の思いや考えを適切な言語で表現し、曲全体を深く捉えて紹介文を書くことができるようになるとともに、音楽を形づくっている要素から生み出される曲想の移り変わりを味わって聴く力が育成されると考え、本題材を設定した。

6 教材について

『ハンガリー舞曲 第5番』（ブラームス作曲 シュメリング編曲）

4分の2拍子 三部形式（A-B-A）Allegro ト短調。原曲のピアノ連弾曲は嬰へ短調

ブラームスが採譜したチャールダーシュの旋律を使い、21曲からなるピアノ連弾の曲集とした「ハンガリー舞曲集」の中の第5番。Aはケーレル作のピアノ曲、Bはボーグナー作の歌曲で構成し、最後の三音はブラームス自身のオリジナルである。まったく違う作曲家の書いたチャールダーシュを合体させることで、それぞれの曲のよさを引き出している。

7 題材の指導計画と評価計画（全3時間）

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価規準(評価方法)		
			知・技	思	態
第1時 (本時)	旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。	○反復・変化を知覚・感受する。 ・「ハンガリー舞曲第5番」を最後まで聴き、「アイア」の構成でできていることを捉える。 ○旋律の特徴や調を知覚・感受する。 ・それぞれの旋律の特徴を手の動きで表しながら聴く。 ・アとイを比べながら、調の変化に気を付けて聴く。 ○速度の変化を知覚・感受する。 ・旋律①②③④で、速度がどのように変化するのかに気を付けて聴く。 ○楽曲全体について自分の考えをまとめる。 ・もう一度「ハンガリー舞曲第5番」を聴き、アとイを比べながら聴き取ったことや感じ取ったことを、友達と交流する。 ・この曲のよさやおもしろさについて、自分の考えを学習カードに書く。		思① (記述、発言、聴取)	
第2時	曲想及びその変化と旋律の特徴や速度、調の変化、音楽の仕組みとの関わりについて理解する。	○曲想及びその変化と旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みの関わりについて理解する。 ・2名の指揮者による演奏を聴く。 ・気付いたことや感じたことを学習カードにまとめる。 ・それぞれの演奏のよさについて、友達と考えを交流する。 ・前時に学習したことを踏まえて「ハンガリー舞曲第5番」の曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて、学習カードにまとめる。	①知 (聴取、発言、記述)		
第3時	旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取っ	○曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わう。 ・「ハンガリー舞曲第5番」の映像資料を見ながら聴き、指揮者による表現の違いについて気付いたことや感じたことを友達と交流する。 ・曲や演奏のよさについて触れながら、		思② (記述、発言)	態① (行動観察、記述)

	たことと感じ取ったこととの関わりについて理解したことを踏まえ、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	「ハンガリー舞曲第5番」の紹介文を書く。			
--	--	----------------------	--	--	--

8 本時(全3時間中の第1時)

(1) 本時の目標

旋律の特徴や速度及び調の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	☆ 指導上の留意点 配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	○反復・変化を知覚・感受する。 ・曲の構成に気を付けて「ハンガリー舞曲第5番」を最後まで聴く。 ・「アイア」の構成でできていることを確認する。	☆ 2拍子を感じて指揮をするよう指示をする。 ☆ 反復を手掛かりとして、形式を「アイア」と捉えることができるようにする。	
展開 30分	○本時のめあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">せんりつの特ちょうや調・速度の変化と曲想との関わりを考えながらきこう。</div> ○旋律の特徴や調を知覚・感受する。 ・4つの旋律の特徴を手の動きで表しながら聴く。 ・気付いたことや感じたことを学習カードに書く。 ・アとイを比べながら、調の変化に気を付けて聴く。 ・気付いたことや感じたことを学習カードに書く。 ・旋律の特徴や調について気付いたことや感じたことを話し合う。 ○速度の変化を知覚・感受する。 ・旋律①②③④で、速度がどのように変化するのかに気を付けて聴く。 ○楽曲全体について自分の考えをまとめる。 ・もう一度「ハンガリー舞曲第5番」を聴き、アとイを比べながら聴き取ったことと感じ取ったことを、友達と交流する。	☆ 旋律を口ずさんだり手で旋律の動きを表したりしながら聴く活動を設定する。 ☆ 全体で共有するとよいことを板書で整理する。 ☆ ④の旋律の速度の捉え方については、2拍子の指揮で確認する。 ☆ アゴーギグに気付いた児童がいた場合は全体で共有するようにする。 ☆ 楽曲のよさや面白さについて学習したことを根拠として交流するよう助言する。	☑①旋律の特徴や速度の変化、音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。(記述、発言)
まとめ 10分	・この曲のよさやおもしろさについて、自分の考えを学習カードに書く。	☆ 最終時の紹介文で学びの変容を児童自身が振り返ることができるような内容を書くように指示をする。	